



給食だより

令和7年度 12月号



「絵本から飛び出したおやつ」



～あらすじ～

おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんにきょうだい10匹きのねずみの大家族です。その家族が、薪割りやかまどに火を入れ、もち米の準備をしてもちつきの一連の流れが分かる話です。

この日は、年長児のもちつきを行いました。絵本の内容通り釜戸でもち米を蒸し、臼と杵でもちつきをしましたが、初めて経験する子がほとんどでワクワクしながら自分の番を待っていました。年中児も応援にかけつけ「臼にお米入れて、杵でつくるとよね？」と絵本の内容や道具の名前を良く覚えていました。年長児のもちつきが始めると「1、2、3！」と大きな声で応援していました。もちつきは、力を入れてつかなければいけないので、つき終えた年長児は、「あ～、疲れた！」という子もあり、頑張っていました。後半の方では、お昼寝していた年少児も外へ出てきて、「今日のおやつ、おもち？」と担任に確認し嬉しそうにおやつ時間を待っていました。

2歳児は、もちつきを見学できなかったのですが、袋に入った餅を触ったり、伸ばしたりして餅の感覚を体験し不思議そうに触る子もいました。

この日の餅は、きな粉餅にして3歳以上児に食べてもらいました。年長児は、自分たちで作った餅は美味しかったようで、たくさんお代わりをしていました。また、年中児も「年長さんがついたおもち、おいしい～！」と言いながら笑顔で食べていました。



～もちつきの様子とおやつ時間～



よーし、
がんばるぞ！

次は、私の番！



よし、
かかってこい！



う～ん、
お味はどうか～！



にいちゃんが作った餅、
さいこう！うまい！



年長さん、お疲れ様！



うまい！

年長さん！
おいしいよ！



自分たちでついた餅は、うま～い！
良いお年を迎えられますように！